

平成30年度第1回射水市地域公共交通活性化協議会 会議録

1 開催日時

平成30年8月24日（金）午後2時～

2 開催場所

射水市役所本庁舎2階201会議室

- 3 出席者 岩田会長、川腰副会長、林委員、山崎委員、釣谷委員、宮腰委員、作道委員、上野委員、白川委員、水上委員（代理坂木氏）、山崎委員、多田委員（代理奥村氏）、島倉委員、坂井委員、荒井委員、山下委員（代理野田氏）、谷内委員、高坂委員、井藤委員、長谷川委員、鈴木委員、石橋委員、米本委員、武部委員、荒谷委員、島崎委員
事務局 泉生活安全課長、久々江課長補佐、二谷主査、宮林主任

- 4 欠席者 寺井委員、中島委員

5 次第及び協議内容

1 開 会

2 会長及び副会長の選任

会 長 富山大学経済学部教授 岩田氏（互選）

副会長 射水市地域振興会連合会 常任理事 川腰氏（会長により指名）

3 地域公共交通網形成計画の概要（北陸信越運輸局）

地域公共交通網形成計画の概要について

北陸信越運輸局交通政策部 井藤交通企画課長

～説 明～

地域公共交通網形成計画を作成するための議論のあり方について

北陸信越運輸局富山運輸支局 長谷川首席運輸企画専門官（企画調整担当）

～説 明～

4 協 議

（1）射水市の公共交通の現状について

～事務局 説明～

<協 議>

（委 員）

- ・様々な路線が混然一体としていて、どの路線に乗ればどこに行けるのかというところが見にくい。

- ・海王丸パークの辺りから市内へ回遊できるような交通手段が見当たらない。観光戦略との整合性を今後図っていく必要がある。

(事務局)

- ・海王丸パークを通過して内川の方にも行っているバスもあるが、わかりにくい。海王丸パークとベイエリアを周る「ベイバス」を観光部局のほうで実施していたが、今年度は研究の段階と聞いているので、そちらのほうも注視しながら考えていきたい。

(会長)

- ・先ほど福祉との連帯ということもあったが射水市には福祉バスはあるのか。

(事務局)

- ・福祉バスはない。

(会長)

- ・コミュニティバスがその役割を担っているということなのか。その点も考慮しながら今後の計画を立てるということなのか。

(事務局)

- ・福祉のほうとも連携が必要かと考えている。

(委員)

- ・当然のことながら鉄軌道も含め路線バス、デマンド交通、タクシーなどを有機的に組み合わせ身丈に合った新たな地域公共交通網の形成を図る必要がある。

(事務局)

- ・計画の中に盛り込んでいきたい。

(会長)

- ・富山県などで公共交通のあり方みたいなことを、検討する会議は行われているのか。

(委員)

- ・富山県内では城端・氷見線の沿線自治体が集まって計画を策定している例がある。

(会長)

- ・自分たちでアプローチすることが必要だということか。

(委員)

- ・市町村で共同して協議会を立ち上げることがベストだが、それが難しいことは理解できるので、事業を連携して実施することでもよいと思う。

(委員)

- ・観光地を紹介するという視点のバスの路線になっていないのではないかと思います。観光に配慮した循環線があればよいと思う。

(委員)

- ・循環にすれば観光という面では非常にありがたいバスになるなというふうに思う。

(委員)

- ・コミュニティバスの路線網が緻密でわかりにくいという観光客の方もいると思う。かなりの路線と本数が既に射水市内にあるので、今回地域公共交通網形成計画の策定において需要をしっかりとつかんだ上で効率的に路線を張ってほしい。その中で循環バスが重要だとい

う結論に至るということであればそういうことだと思ふ。現在、標準的なバス情報フォーマットによって色々なネットで気軽に地図から検索できるようにデータ整備をしている。グーグルマップで検索できれば世界中に案内できると思ふので是非推進してほしい。

(事務局)

- ・いただいたご意見につきましては、関係機関の方と協議をさせていただきます、対応を考えていきたい。

(2) アンケート調査について

～事務局 説明～

<協議>

(委員)

- ・アンケートをすると多くの意見が出される。大学にアンケートをいただいて調査を行うということもたいへんありがたいと考えている。アンケートはなるべく文字を少なくし、難しい字を使わないなど配慮してほしい。

(委員)

- ・このアンケートをすることで地域公共交通網を作成するにあたり、資するものになり得るということか。

(事務局)

- ・まずODをしっかり取るため、パーソントリップ調査の項目を設けている。射水市においてはかなり公共交通網がしっかりした状態なのでパーソントリップでODを見極めた上で、効率化できるかできないか見定めていきたいと考えている。

(委員)

- ・しっかりしたものにしていただきたいという観点から申し上げさせていただいた。

(委員)

- ・先ほどバスの乗務員が人材不足になっているとお話があったが、それにもましてタクシーはもっと現状が厳しい状況である。デマンドタクシーは予約が優先である。幹線とフィーダーになる場合、タクシーを利用するのなら予約制であれば対応できるのではと考えている。

(委員)

- ・具体的にどこに行っているのか聞くことは大事である。どこかで乗り換えをせざるをえないような交通体系を組まないといけない可能性は今後出てくるかと思う。どういう時間帯でどういう人が降りて乗り換えているのかということが、非常に重要だと思うので、しっかりと調査していただきたい。

(委員)

- ・高齢者の世帯の場合は、市の職員や自治会において聞き取って書き取るといった方法もあるのではないか。問3で満足度を聞いているが、どこに不満を感じているか聞いてないのでアンケート結果を見ても対策が打てないといったこともある。コミバスとデマンドについては一部改善点を聞いている部分もあるが、それ以外の設問についても改善点

を入れるのも手かなと思うので検討いただければと思う。

5 閉 会

(会 長)

- ・そのあたり検討してアンケートに反映してほしい。
- ・全ての議題の協議が終わったので、第1回射水市地域公共交通活性化協議会を閉じさせていただきます。

(事務局)

- ・アンケート調査については来月下旬以降に実施をする予定としている。翌年の2月頃に第2回目の協議会を開催し、アンケートの調査結果、そこから見えてきた課題等について報告をさせていただく予定としている。また、翌年度にはアンケート調査の結果等を踏まえた射水市地域公共交通網形成計画の策定について2、3回協議会を開催させていただく予定としている。なお日程と詳細な内容については、事務局から改めて委員の皆様にご連絡をさし上げる。

5 会議資料

次 第

- 資料1 地域公共交通の厳しい現状
- 資料1 (続) 活発で良い議論ができる会議のために
- 資料2 射水市内公共交通網
- 資料3 コミュニティバス及びデマンドタクシーの現況について
- 資料4 射水市の公共交通に関するアンケート調査 調査票 (市民アンケート案)
- 資料4 (続) 射水市の公共交通に関するアンケート調査 調査票 (利用者アンケート案)
- 別紙1 射水市地域公共交通活性化協議会設置要綱
- 別紙2 射水市地域公共交通活性化協議会委員名簿